

2023/11/07 治療実績を更新いたしました

2023/06/23 当財団 名誉理事長 中川原 章がアルベルト・シュバイツァー章の功労賞を受章しました

当章はオーストリア・アルベルト・シュバイツァー協会により毎年、人道支援や教育、医療、国際貢献、文化など各分野で 顕著な功績があった方々を讃える目的で贈られています。



2023/05/31 鳥栖市内提携宿泊施設の情報を更新しました。

2022/07/19 佐賀県内に在住の方は治療費助成制度があります

佐賀県及び鳥栖市では、有効な治療法でありながら公的医療保険の適用がないがん先進医療の普及を図るため、佐賀県民及び鳥栖市民の皆様ががん先進医療を受診する場合の治療費の助成等を行っています。

	佐賀県	鳥栖市
事業名	佐賀県がん先進医療受診環境づくり事業	鳥栖市がん先進医療受診環境づくり事業
助成内容	佐賀県民が「がん先進医療」を受ける場合に治療費を助成 佐賀県民（1年以上在住）が「がん先進医療」の治療費を金融機関から借り受けた場合の利子を補給	鳥栖市民（1年以上在住）が「がん先進医療」を受ける場合に治療費を助成
助成額等	治療費助成額 治療費の10分の1以内（限度額30万円） 利子補給額 治療費に係る金融機関からの借入利子（補給利率6%以内、補給期間7年以内）	治療費助成額 治療費の15分の1以内 （限度額20万円、県助成に上乗せ）
事業開始	平成25年10月1日～ （治療開始日を基準）	平成25年10月1日～ （治療開始日を基準、県助成に準じる）

2022/04/30 オンライン資格確認システム導入のお知らせ

令和4年5月2日（月曜日）より当施設では、マイナンバーカードを健康保険証としてご利用いただけます。マイナンバーカードの読み取りは、顔認証、暗証番号にて対応しております。



2022/04/26 5月2日（月）より電子カルテの新システム移行について

当センターは、5月2日（月曜日）より電子カルテのシステムを新システムへ移行いたします。新システム移行にあたっては慎重な事前準備を行うとともに、電子カルテシステム業者の専門スタッフが各部署に待機して、不手際が発生しないよう十分に対処しておりますが、一時的に診察や会計等でお時間をいただく可能性がございます。

どうぞご理解の上、ご協力をいただけますようお願いいたします。

2022/04/01 2022年4月から「公的医療保険」の適用が広がり、さらに身近な治療となりました。

2022/02/08 日本量子医科学会第一回学術大会が開催され優秀演題発表賞を受賞しました

2021年12月11日（土）に日本量子医科学会第一回学術大会が開催され優秀演題発表賞を受賞しました。



写真は左から八尋主任看護師、山内看護師、坂井看護師

2022/02/07 放射線治療情報システムのハードウェア更新に係る条件付一般競争入札について 質問回答

上記に関して提出されたご質問に回答します

Q1. 仕様書中「4.2.3.2 すべての端末にマイクロソフト社製 Office 2021 のライセンスを備え、インストールすること。」について、マイクロソフト社製 Office 2019 にて対応することでも可能でしょうか。

A1. マイクロソフト社製 Office 2019 でも問題ありません。

以上です。

2021/11/16 中川原理事長が佐賀新聞文化賞を受賞しました

中川原理事長が地域の発展や文化の振興に貢献した個人・団体に佐賀新聞が贈る佐賀新聞文化賞（社会・産業部門）を受賞しました。



※令和3年11月2日 佐賀市のホテルニューオータニ佐賀にて

2021/11/05 12月4日（土）福岡市にて医用原子力技術研究振興財団との共催講演会（フォーラム）を開催します。

2021/08/24 一般公開の中止について

サガハイマットの一般公開につきまして、毎年度多数の方にご参加いただき、好評をいただいておりますが、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、令和3年度は実施しないこととしました。

2021/07/28 医療情報システムの公募型プロポーザル受付を終了しました

2021/07/21 サガテレビでサガハイマットが紹介されます。

2021/06/30 サガハイマット通信第33号を発行しました

2021/03/24 当センターの記事が3/27（土）の佐賀新聞に掲載されました

2021/02/22 当センターの記事が2/27(土)の西日本新聞、毎日新聞に掲載されました

2021/02/16 当センターの記事が2/20(土)の佐賀新聞、読売新聞、朝日新聞に掲載されました

2020/11/19 当センターの記事が11/22(日)の佐賀新聞に掲載されました

2020/11/04 当センターの記事が11/4(水)の産経新聞に掲載されました

2020/09/04 令和2年9月7日(月)臨時休診のお知らせ

2020/08/11 センター駐車場のご利用について

令和2年8月11日(火)より建物北側の裏手駐車場もご利用いただけるようになりました。



2020/07/01 センター長 あいさつ

2020/07/01 塩山センター長がベストドクターズに選ばれました

塩山善之センター長が、ベストドクターズ®社から、医師同士の評価によって選ばれる “The Best Doctors in Japan™ 2020-2021” に選出されました。3期連続の受賞となりました。



※ベストドクターズ社の名医選出方法は、医師に対して「もし、自分や大切な人が、自分の専門分野の病気にかかった場合、自分以外の誰に治療を委ねるか」という観点から、他の医師についての評価を伺うことで進められ、最終的に調査結果から一定以上の評価を得た医師を名医（Best Doctors）に認定するというものです。

2020/03/29 当センターの記事が3/29（日）佐賀新聞に掲載されました

2020/03/28 当センターの記事が3/28（土）読売、朝日、毎日、西日本新聞に掲載されました

2020/02/26 サガハイマツト・西日本新聞・サガテレビ医療フォーラムの延期について

2019/11/14 サガハイマツトを一般公開しました

11月9日（土曜日）にサガハイマツトの施設内部を一般に公開しました。公開は昨年7月に続き7回目。佐賀県、福岡県をはじめ、広く九州・山口地区から約250の方がお越しになりました。



サガハイマツトの紹介動画や模型を公開しました



普段は見るできない治療室や加速器室も公開しました

2019/10/23 成果報告書について

2018年11月 佐賀市内にて開催した治療実績を報告するフォーラム内容を成果報告書として取りまとめました。

[肝臓がんに関する成果報告書](#)

[膵臓がんに関する成果報告書](#)

[肺がんに関する成果報告書](#)

[前立腺がんに関する成果報告書](#)

[下部消化管がんに関する成果報告書](#)

[頭頸部がんに関する成果報告書](#)

2019/09/05 サガハイマット一般公開を11月9日（土）に開催します

2019/02/07 チュラロンコン大学医学部と医療機能協力協定を結びました

平成 31 年 2 月 7 日、当財団では、医療サービスの向上・質の高い医療環境確保・より良質な患者さんへのケアを目的にチュラロンコン大学医学部（タイ、バンコク）との間で、医療機能協力協定を結びました。この協定により、がん治療の関わる専門人材育成・医療スキルの向上となることを期待しています。



調印式では、当センター 中川原 理事長とシュッティポン・ワチャラシンド医学部長が協定書にサイン。



今後の展開についての意見交換も行いました

2019/01/24 2月18日（月） 熊本市内にて重粒子線医療フォーラムが開催されます

2018/11/16 サガハイマツト医療フォーラムを開催について（定員となりましたので、参加申込を締め切りました）

2018/10/17 サガハイマツト通信第22号を発行しました

2018/07/21 サガハイマツト一般公開を行いました

7月21日（土曜日）サガハイマツトの施設内部を一般に公開しました。公開は昨年7月に続き6回目。佐賀県、福岡県をはじめとして広く九州・山口地区を中心に400名の方がお越しになりました。



2018/05/07 当財団理事長 中川原 章 が国際神経芽腫学会より「Lifetime Achievement Award（特別功労賞）」を受賞しました

この度、当財団理事長の中川原 章 が国際神経芽腫学会（ANRA）から「Lifetime Achievement Award（特別功労賞）」を受賞しました。日本人として初めての受賞となります。

2018/04/23 理事長及びセンター長のあいさつを更新しました

2018/04/18 4/19(水)NHK 佐賀の夕方情報番組でサガハイマツトが取り上げられます

2018/02/26 当財団理事長 中川原 章 が比較腫瘍学常陸宮賞を受賞することになりました

2月13日（火）に開催された比較腫瘍学常陸宮賞の選考委員会におきまして2018年（第21回）受賞者として当財団理事長 中川原 章が選出されました。

受賞対象となりました業績は、「神経芽細胞腫の自然退縮の機序解明とヒト新規進化遺伝子産物N-CYMの発見」(Elucidation of the mechanism of spontaneous regression of neuroblastoma and discovery of human de novo evolved gene product N-CYM)です。

2018/01/15 平成30年2月26日（月）福岡市にて医療フォーラムを開催します

2017/09/25 TVQ九州放送の情報番組「ぐっ！ジョブ」の中でサガハイマットが紹介されます

2017/03/04 サガハイマツト&サガテレビ 医療フォーラムを開催しました

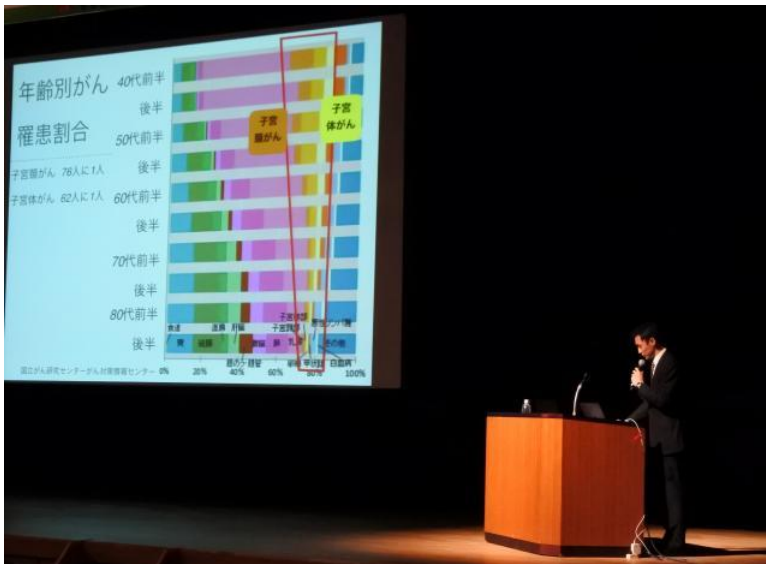
平成 29 年 3 月 4 日（土曜日）に唐津市で、当法人及びサガテレビ主催によるサガハイマツト&サガテレビ医療フォーラム「重粒子線がん治療 新たなステージへ」を開催しました。特別講演として医師・作家の海堂 尊先生により「医療と文学の融和」を演題にご講演いただき、重粒子線治療をはじめとした最新の放射線治療に対する基礎知識や、治療実績を分かりやすく紹介し、約 250 人の来場者の方にご参加いただきました。



中川原理事長による開会の挨拶



サガハイマツトの現状とこれからについて紹介する塩山善之センター長



子宮がん治療の開始に向けて説明する松本圭司医長

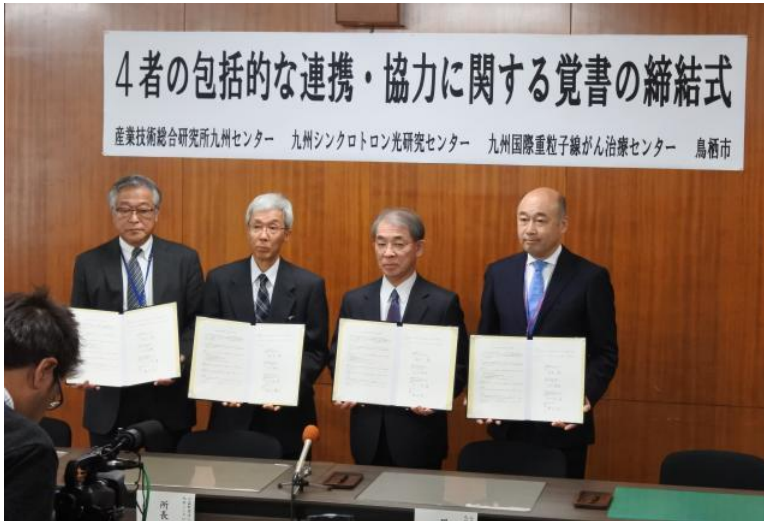


医師・作家の海堂 尊 先生による特別講演「医療と文学の融和」

2017/02/22 NHK ラジオ第1にて サガハイマツが紹介されました

2017/01/23 4者の包括的な連携・協力に関する覚書を締結しました

平成29年1月23日（月）に鳥栖市役所内にて、4者（国立研究開発法人産業技術総合研究所九州センター、公益財団法人佐賀県地域産業支援センター九州シンクロトン光研究センター、公益財団法人佐賀国際重粒子線がん治療財団九州国際重粒子線がん治療センター、鳥栖市）が包括的な連携・協力のもと、相互の更なる発展を目指し、協力可能なすべての分野において、具体的な連携・協力を効果的に実施することにより、学術の振興及び地域社会に貢献することを目的とする連携・協力に関する覚書の締結式を行ないました。



（写真左側より 産業技術総合研究所九州センター所長 坂本 満 様、九州シンクロトン光研究センター所長 平井 康晴 様、当法人 中川原理事長、鳥栖市長 橋本 康志 様）

2016/12/19 チョーライ病院 (Cho Ray Hospital) と友好交流協定を結びました

平成28年12月19日、チョーライ病院（ベトナム社会主義共和国）と当法人との間で友好交流協定を結びました。



(写真)左より、チョーライ病院 ソン院長 (Professor Son)、当法人 中川原理事長

2016/11/29 ケア・フレンズ、ケア・サポーターズの皆様がサガハイマツを訪問されました

2016年11月29日(火)、ケア・フレンズ、ケア・サポーターズクラブの皆様がサガハイマツを訪問されました。重粒子線がん治療やサガハイマツについて概要を説明した後、施設を見学されました。当センターの塩山センター長が重粒子線がん治療等についての説明や治療室にて佐藤技師長からの説明を行う際には、熱心に聞き入れ、質問されていました。



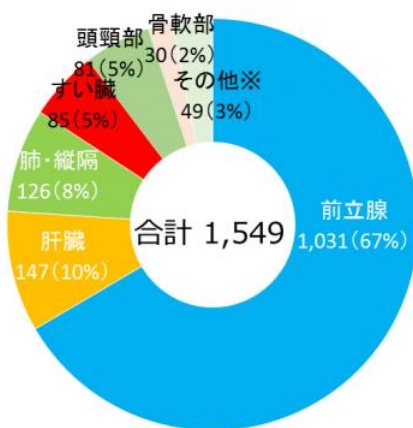
(写真)最前列の着座左側より、ケア・フレンズ東京 副会長 加藤睦子 様、当財団 中川原理事長、
ケア・フレンズ東京 会長 安倍洋子 様、同 名誉会長 柳井俊二 様、柳井敏子 様

2016/08/26 治療を開始して3年が過ぎました

サガハイマツでは、平成25年8月27日に治療を開始してから、平成28年8月26日で3年が過ぎ、治療患者数は1,549人になりました。なお、治療開始1年目の治療患者数は322名、2年目の治療患者数は582名でした。

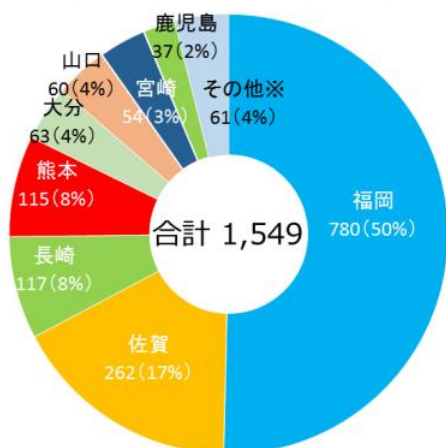
○治療患者数 1,549人（平成28年8月26日）

（部位別内訳）※治療患者数・・・治療済及び治療を開始した患者数



※直腸（骨盤内再発）、腎臓、リンパ節その他

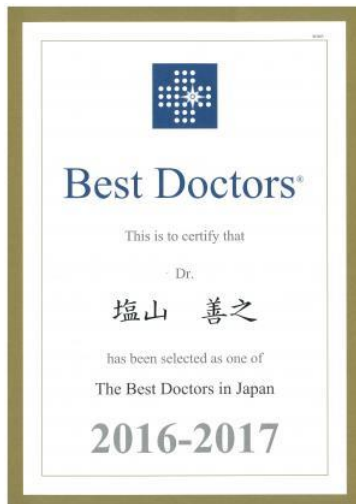
（住所別内訳）



※東京、広島、沖縄、愛媛、愛知、大阪、埼玉、島根、京都、神奈川、北海道、栃木、岡山、高知、兵庫、群馬、三重

2016/08/09 塩山善之センター長がベストドクターズに選ばれました

塩山善之センター長が、ベストドクターズ®社から、医師同士の評価によって選ばれる “The Best Doctors in Japan 2016-2017” に選出されました。



ベストドクターズ社とは、米国マサチューセッツ州ボストンに本社を置き、現在 70 カ国で適切な治療やセカンドオピニオン取得のための名医紹介などのサービスを行っている会社です。ベストドクターズ社の名医選出方法は、医師に対して「もし、自分や大切な人が、自分の専門分野の病気にかかった場合、自分以外の誰に治療を委ねるか」という観点から、他の医師についての評価を伺うことで進められ、最終的に調査結果から一定以上の評価を得た医師を名医（Best Doctors）に認定するというものです。現在、世界中で約 53,000 名の医師が名医として認定されており、日本では約 6,500 名が認定されています。（医師数は 2016 年 7 月現在）

2016/06/14 テレビ大分で「重粒子線がん治療の今とこれから」が再放送されます

2016/04/01 理事長あいさつ【2016年4月】

2016/04/01 2018年4月 センター長あいさつ

2016/04/01 2016年4月 センター長あいさつ

2016/04/01 日本医学放射線学会より「放射線科専門医特殊修練機関」として認定されました

認定施設名 : 公益財団法人佐賀国際重粒子線がん治療財団 九州国際重粒子線がん治療センター
研修施設 : 放射線科専門医特殊修練機関
認定番号 : 特-30
認定部門 : 放射線治療（粒子線）
認定期間 : 平成28年4月1日～平成31年3月31日

2016/02/22 交通案内ページを更新しました（マップコードの追加）

2016/02/14 サガハイマツト&サガテレビ医療フォーラムを開催しました

平成 28 年 2 月 14 日（日曜日）に武雄市で、サガハイマツト&サガテレビ医療フォーラム「重粒子線がん治療の今とこれから」を開催しました。東京大学医学部附属病院放射線科の中川恵一先生による基調講演、元プロ野球選手でサガハイマツト治療体験者である今井雄太郎さんとの対談等、重粒子線治療をはじめとした最新の放射線治療に対する基礎知識や、治療実績を分かりやすく紹介し、定員 400 人を超える来場者の方にご参加いただきました。



中川原理事長による開会の挨拶



サガハイマツトにおける重粒子線がん治療の現状について紹介する塩山善之副センター長



東京大学医学部附属病院放射線科の中川恵一先生による基調講演



今井雄太郎氏との対談「今井雄太郎 がんを語る」
左から進行の内田信子さん、今井雄太郎さん、サガハイマツトの篠藤誠主任医長、同じく塩山副センター長

2015/10/31 麻生副総理がサガハイマツトを視察されました

平成 27 年 10 月 31 日（土曜日）、麻生太郎副総理兼財務相がサガハイマツトを視察されました。中川原理事長や工藤センター長らの案内で、実際に重粒子線を照射する治療室や加速器室などを視察された後、麻生副総理は、「（重粒子線がん治療施設が）九州の鳥栖にできているところが私にはすごく大事なこと。ひとつの例になると思うので、期待している。」と重粒子線がん治療の更なる普及に期待感を示されました。

（治療室 A を視察される麻生副総理）

（視察後に感想を述べられる麻生副総理）



（サガハイマツト関係者一同と記念撮影）



2015/10/20 治療患者数が 1,000 人を超えました

2015/09/29 下部消化管プロトコール概要を追加しました

2015/09/29 膝プロトコール概要を追加しました

2015/09/24 肺縦隔プロトコル概要を追加しました

2015/09/07 サガハイマットにおける治療実施体制のページを更新しました

2015/08/27 治療を開始して2年をむかえました

サガハイマットでは、平成25年8月27日に治療を開始してから、平成27年8月26日で2年をむかえ、治療患者数は904人になりました。なお、治療開始1年目（2013年8月27日～2014年8月26日）の治療患者数は322名でした。

※治療患者数・・・治療済及び治療を開始した患者数

○治療患者数 904人（平成27年8月26日）

（部位別内訳）	・前立腺	606人
	・肝臓	79人
	・肺・縦隔	71人
	・すい臓	51人
	・頭頸部	50人
	・骨軟部その他	47人
（住所別内訳）	・福岡県	451人
	・佐賀県	156人
	・長崎県	77人
	・熊本県	64人
	・大分県	39人
	・山口県	30人
	・宮崎県	29人
	・鹿児島県	22人
	・その他	36人

2015/07/01 「医師紹介」ページを更新しました

2015/06/15 新理事長の就任について

九州国際重粒子線がん治療センター（愛称：サガハイマット）を運営する公益財団法人佐賀国際重粒子線がん治療財団は、平成 27 年 6 月 15 日（月）午後に開催した平成 27 年度第 12 回評議員会において、公益財団法人佐賀国際重粒子線がん治療財団の理事長として中川原章（なかがわら・あきら）が就任することを決議しました。就任は同日付けで、任期は最長 6 年となります。前理事長の十時忠秀は、任期満了により退任、同日付けで評議員及び名誉理事長に就任しました。中川原新理事長は、昭和 22 年生まれ。68 歳。昭和 47 年九州大学医学部卒。千葉県がんセンター センター長を経て、平成 26 年 4 月に地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館・理事長に就任（好生館理事長と併任）。

2015/06/05 治療患者数が 800 人を超えました

2015/05/20 JFN 番組「face」に十時理事長が出演しました

2015/05/08 サガハイマットで行われている研究について

2015/04/10 治療患者数が 700 人を超えました

2015/02/25 肝腫瘍プロトコール概要を追加しました

2015/02/15 サガハイマツト&サガテレビ 医療フォーラムを開催しました

平成 27 年 2 月 15 日（日曜日）に佐賀市で、当法人及びサガテレビ主催によるサガハイマツト&サガテレビ医療フォーラム「がん治療の正しい知識を ～重粒子線と放射線～」を開催しました。東京大学医学部附属病院放射線科の中川恵一先生による基調講演など、重粒子線治療をはじめとした最新の放射線治療に対する基礎知識や、治療実績を分かりやすく紹介し、約 300 人の方にご参加いただきました。



当センター 十時理事長による開会の挨拶



サガハイマツトにおける重粒子線がん治療の現状について紹介する塩山副センター長



東京大学医学部附属病院放射線科の中川恵一先生による基調講演

2015/02/06 治療患者数が 600 人を超えました

2015/01/10 区画整理事業に伴い住所表示が変更になりました

2014/12/10 台湾城市健康事業有限公司と医療機能連携協定を締結しました

台湾の台湾城市健康事業有限公司と九州国際重粒子線がん治療センターは、2014年12月10日、相互が緊密な医療連携を図り、台湾と日本の医療の向上に寄与ことを目的として医療機能連携に関する協定を締結しました。台湾にはサガハイマツを支援していただいている「ハイマツ台湾後援会」があり、その団体が母体となって、台湾城市健康事業有限公司が設立されました。



2014/12/08 医療法人福翔会 福岡病院と医療機能連携協定を締結しました

医療法人福翔会 福岡病院と九州国際重粒子線がん治療センターは、2014年12月8日、相互が緊密な医療連携を行うことを目的として医療機能連携協定を締結しました。連携の実施内容としては次のとおりとしています。

- (1) 相互に患者さんを紹介・受け入れ
- (2) 人事交流等を通じた人材育成と医療技術の向上
- (3) 症例検討会、講演会及び研究会への参加
- (4) 医療情報のIT化や共有化の推進による連携強化

2014/11/28 治療患者数が500人を超えました

2014/10/08 第11回日本粒子線治療臨床研究会を開催しました

日本粒子線治療臨床研究会は、粒子線治療についての臨床研究を深め、粒子線治療の技術向上、粒子線治療成績の向上、ならびにその普及等に寄与することを目的として設立された研究会です。第11回の本会は当センターの工藤センター長を大会長に、サガハイマツトが担当しました。本会は、一般演題19題、また、特別講演として、放射線医学総合研究所重粒子医科学センター主任研究員の平山亮一先生にご講演いただき、当センターのスタッフを含め、約150名の会員が参加しました。また、本会の開会前にはサガハイマツトの施設見学を、本会終了後には情報交換会を開催し、粒子線治療に関する情報交換を行うとともに、懇親を深め、盛会のうちに第11回大会を終えることができました。



サガハイマツト施設見学の様子



放医研 平山主任研究員による特別講演



当センター 十時理事長による情報交換会開会の挨拶



サガハイマツトスタッフ

2014/10/08 生命保険協会 若狭副会長がサガハイマットに来訪されました

一般社団法人 生命保険協会 代表理事・副会長の若狭一郎様が10月8日、サガハイマットに来訪され、当法人の北村専務理事と意見交換を行いました。若狭副会長からは、「世間で高く評価されている粒子線治療の普及に少しでもお役に立つことができれば本望。これからも粒子線治療の認知度向上に努めていきたい」と述べられました。また、北村専務理事からは、「施設に直接支払うことができる保険会社はまだ少ない。手続き上難しいのかもしれないが、普及すれば患者さんの負担軽減に繋がる」と述べました。



(写真) 左から、佐賀県 原健康福祉本部副本部長、当法人 北村専務理事、生命保険協会 若狭副会長、同 山口福岡協会会長

2014/10/01 「2014 年度グッドデザイン賞」を受賞しました

2014/06/23 宿泊施設の案内を更新しました

2014/04/18 南海医療センターと医療機能連携協定を締結しました

独立行政法人地域医療機能推進機構 南海医療センターと九州国際重粒子線がん治療センターは、2014年4月18日、相互が緊密な医療連携を行うことを目的として医療機能連携協定を締結しました。連携の実施内容としては次のとおりとしています。

- (1) 相互に患者さんを紹介・受け入れ
- (2) 人事交流等を通じた人材育成と医療技術の向上
- (3) 症例検討会、講演会及び研究会への参加
- (4) 医療情報のIT化や共有化の推進による連携強化

2014/03/03 治療対象部位を拡大しました（肺、肝臓、すい臓）

2013/12/16 総合病院山口赤十字病院と医療機能連携協定を締結しました

総合病院山口赤十字病院と九州国際重粒子線がん治療センターは、2013年12月16日、相互が緊密な医療連携を行うことを目的として医療機能連携協定を締結しました。連携の実施内容としては次のとおりとしています。

- (1) 相互に患者さんを紹介・受け入れ
- (2) 人事交流等を通じた人材育成と医療技術の向上
- (3) 症例検討会、講演会及び研究会への参加
- (4) 医療情報のIT化や共有化の推進による連携強化

2013/12/10 北九州市立医療センターと医療機能連携協定を締結しました

北九州市立医療センターと九州国際重粒子線がん治療センターは、2013年12月10日、相互が緊密な医療連携を行うことを目的として医療機能連携協定を締結しました。連携の実施内容としては次のとおりとしています。

- (1) 相互に患者さんを紹介・受け入れ
- (2) 人事交流等を通じた人材育成と医療技術の向上
- (3) 症例検討会、講演会及び研究会への参加
- (4) 医療情報のIT化や共有化の推進による連携強化

2013/12/01 治療対象部位を拡大しました（頭頸部、骨軟部）

2013/11/20 済生会九州ブロックと医療機能連携協定を締結しました

済生会九州ブロックの13病院と九州国際重粒子線がん治療センターは、2013年11月20日、相互が緊密な医療連携を行うことを目的として医療機能連携協定を締結しました。連携の実施内容としては次のとおりとしています。

- (1) 相互に患者さんを紹介・受け入れ
- (2) 人事交流等を通じた人材育成と医療技術の向上
- (3) 症例検討会、講演会及び研究会への参加
- (4) 医療情報のIT化や共有化の推進による連携強化

2013/11/01 先進医療としての治療が実施できることとなりました

サガハイマツでは、平成 25 年 8 月 27 日より前立腺がんの患者さんへの治療を自由診療として開始しましたが、この度、国の定める一定の基準を満たしたことから、国に対して先進医療の届出を行い、受理されました。これにより、サガハイマツで行う重粒子線治療は先進医療として実施できることとなりました。

今回の届出により、先進医療として行う重粒子線治療の技術料は 314 万円となり、それ以外の通常の治療と共通する部分（診察・検査・投薬等）には公的医療保険が適用されます。

（参考）[厚生労働省ホームページ 先進医療の概要について](#)

先進医療の治療費を保障する民間保険について

民間の保険会社からは、先進医療の費用（重粒子線治療の技術料を含む）を保障する保険商品が販売されています。（詳しくは、各保険会社へお問い合わせください。）

今後のスケジュール

平成 25 年 12 月	頭頸部・骨軟部などの部位治療開始
平成 26 年 3 月	肺・肝などの部位治療開始

2013/09/08 RKB 毎日放送「元気 by 福岡」に工藤センター長が出演しました

2013/09/05 サガン鳥栖の監督、選手の皆様がサガハイマツトを訪問されました

2013年9月5日（木）、サガン鳥栖の監督、選手の皆様がサガハイマツトを訪問されました。エントランスで尹晶煥監督、播戸竜二選手や豊田陽平選手からサイン入りグッズを贈呈していただきました。その後、重粒子線がん治療やサガハイマツトについて概要を説明をした後、施設を見学されました。当センターの工藤センター長が治療室で照射装置の説明を行う際には、熱心に聞き入れられ、治療方法などについて質問をされていました。



（写真）贈呈されたフェアプレーフラッグを中心に記念撮影

（写真）エントランスでサガン鳥栖の選手からフェアプレーフラッグの贈呈



（写真）サガン鳥栖の監督、選手の皆さんへ施設を案内する工藤センター長（左）

2013/08/28 前立腺がんの治療を開始しました

九州初の重粒子線がん治療施設「九州国際重粒子線がん治療センター（愛称：サガハイマツ）」は、平成 25 年 6 月に開院し、まずは前立腺がんを対象に治療の予約をお受けしてまいりましたが、治療装置の調整等の準備が整ったことから、本日 8 月 27 日（火）に前立腺がんの患者さんへの治療を開始しました。9 時頃に 1 人目の患者さん（70 代、佐賀県在住）が治療室に入られ、20 分程度（うち照射時間は 1 分程度）で治療を終え出てこられました。



（写真）治療室での照射準備の様子



（写真）照射ボタンを押す工藤センター長

本日はもう 1 名（40 代、福岡県在住）治療を受けられました。患者さんの 1 人は、「あっという間でなにも感じなくてすごく楽でした。『もう終わったの?』というのが率直な感想です。」とおっしゃっていました。サガハイマツでは、現在 106 名（8 月 26 日現在、上記 2 名を含む）の前立腺がんの治療予約をいただいております。

（内訳：佐賀県 18 名、福岡県 60 名、その他 28 名（注））

（注）長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、山口県、広島県、埼玉県

【参考】スケジュールについて

平成 25 年 5 月 1 日	センター開設届出・保険医療機関指定申請
6 月 1 日	保険医療機関承認 開院（紹介外来・カンドオピニオン外来開設）
8 月 27 日	治療開始（前立腺がん）
（以下、予定）	
12 月	先進医療の実施 頭頸部・骨軟部などの部位治療開始
平成 26 年 3 月	肺・肝などの部位治療開始

2013/08/01 九州国際重粒子線がん治療センターHP を開設しました

2013/07/25 「サガハイマツ通信」第 5 号を発行しました

2013/07/22 大分大学医学部附属病院と医療機能連携協定を締結しました

大分大学医学部附属病院と九州国際重粒子線がん治療センターは、2013年7月22日、相互が緊密な医療連携を行うことを目的として医療機能連携協定を締結しました。連携の実施内容としては次のとおりとしています。

- (1) 相互に患者さんを紹介・受け入れ
- (2) 人事交流等を通じた人材育成と医療技術の向上
- (3) 症例検討会、講演会及び研究会への参加
- (4) 医療情報のIT化や共有化の推進による連携強化

2013/06/05 理事長あいさつ 【2013年6月5日】



九州の産学官が協力して進めてきたプロジェクトが実を結び、平成25年5月、九州で初めての重粒子線がん治療施設が開設しました。九州・山口地区の患者さんにとってこれまで遠くに行かなければ受けられなかった最先端のがん治療が、身近で受けられるようになります。サガハイマットには、木の温かみを生かした内装や、ロビーに設置したスタンドグラス、光が降り注ぐポケットガーデンなど、訪れた患者さんにリラックスして治療を受けていただきたいという想いが込められています。心と体にやさしい治療を提供し、患者さん中心の医療で、世界に誇るがん治療施設を目指していきたいと思っております。

2013年6月

公益財団法人 佐賀国際重粒子線がん治療財団

理事長 十時 忠秀